

ハタラク、その先に  
これからのはじみんをイメージする

# LIFE × DESIGN

<http://lifedesign-ehime.com>

発行元／愛媛県  
平成28年度愛媛県少子化対策事業  
「えひめの次代を担う親づくり推進事業」  
受託・企画／NPO法人ワークライフ・コラボ  
[冊子制作]  
NPO法人ワークライフ・コラボ  
<http://www.worcolla.com/>  
[制作サポーター]  
穴吹卓大(愛媛大学1回生)  
伊藤 心(愛媛大学1回生)  
西谷琴美(愛媛大学2回生)  
下江咲希(愛媛大学3回生)  
一色成美(松山東雲短期大学2年生)  
[デザイン]  
井上真季(イノウエデザイン事務所)



# LIFE × DESIGN

## はじめに

このライフデザイン事業も、おかげさまで3年目を終えることができました。2016年度は、高校生にも対象を広げ、短大生・大学生・専門学校生に向けて就職の先の「結婚や子育てもキャリア」と捉え、目先の就職だけではなく、親になることを含めたライフデザインを描くきっかけを、出張講座や子育て体験を通じて伝えています。民間企業等で働いている、子どもを持つ社会人の男女にご協力をいただき、共働きが求められている状況や自身のワークライフバランス、親業の楽しさを伝え届けていただきました。「少子化対策」という使命を超えて、学生・現役社会人、それぞれが「自分が、社会がより良くなっていくにはどうしたらいいか」を考える異世代交流にポジティブなイメージを持てる社会に。まずは「こんな風になりたい」大人を増やしたいと思っています！

2017年3月

ライフデザインスタッフ一同

## 目次

- P01 はじめに
- P02 ライフデザイン2014活動報告
- P05 ケッコンとは？
- P07 コソダテとは？
- P09 ハタラクとは？
- P11 出生数及び合計特殊出生率の推移
- P12 ライフデザイン2015活動報告
- P15 ケッコン＆シュッサンとは？
- P16 愛媛の総人口の推移と将来推計人口
- P18 ライフデザイン2016活動報告
- P21 先輩たちのライフデザイン
- P24 愛媛の平均初婚年齢の推移
- P27 こんなことやりました
- P28 保育体験 in みかんキッズクラブ
- P29 わたしたちの活動年表
- P30 ご協力いただいた皆さま



「2014」メンバー交流会



「2015」メンバー交流会



「2016」メンバー交流会

# 2014

LIFE×DESIGN  
ACTIVITY REPORT

報告内の学年や所属先、  
族構成などはその年度  
当時の情報です。



## 2014年の学生スタッフたち

2014年には新メンバーも加えた8名の大学生スタッフが参加しました。

「ケッコンとは?コソダテとは?ハタラクとは?」を知りたいと、これから始まる活動について学生スタッフとなったきっかけや、活動への意欲を目標にしました。



なるちゃん  
いつもニコニコなるちゃんです。この事業を通じてたくさんの人と出会いたいです。

[松山大学 3年]



ゆう  
楽しくがんばります。

[愛媛大学 3年]



きょん  
一人でも多くの学生さんに、将来について明るく考えてもらえる事業にしていきます!よろしくお願いします。

[愛媛大学 3年]



りんご  
活動を通して周りの人をハッピーに、一人ひとりが輝く社会を目指してがんばります。

[愛媛大学 3年]



さっこ  
ライフデザインについて考える事が希望に繋がるといいなと思っています。

[愛媛大学 3年]



こば  
普通に生活していたら体験できないことばかりなので頑張りたいと思います。

[松山大学 3年]



なめこ  
特別なヤル気があるわけではありません、結婚、子育てについて知らないから、知ってみようと思います。

[愛媛大学 4年]



A 吉  
核家族化が進む昨今、男性の家事・育児への参加はとても大事です。学生のときから家事・育児のリアルに触れる機会に恵まれたら、将来への備えになるはずです!

[愛媛大学 4年]



らお  
はじめまして! 結婚、子育てといったことを今から考える貴重な機会としたいです。

[愛媛大学 4年]

## 活動報告



2014.7.5

### ライフデザイン公開講座

キックオフイベント「ライフデザイン公開講座」は、愛媛大学総合情報メディアセンターで開催。大学生・社会人合わせて65名の参加者にお越しいただきました。ファザーリング・ジャパン関西の和田憲明代表を迎え、ゲスト5名が「結婚、子育て、働く」について本音トークを繰り広げました。



2014.10~2015.1

### ライフデザイン出張講座

松山大学、愛媛大学、松山東雲短期大学で計7回、総勢300人強の学生さんを対象に行われた「ライフデザイン出張講座」。社会人ゲストを迎えて、結婚、子育て、共働きなど毎回異なるテーマでお話していただきました。結婚、子育てがプラスのイメージに変わったという意見を本当に多くの学生さんからいただきました。



2014.11~2015.2

### コソダテ体験

保育施設や実際の子育て家庭にお邪魔した「レッツコソダテ体験」。子どもと触れ合ったり、先輩たちの結婚のきっかけ、仕事と子育ての両立、夫婦のことなどリアルなトークを楽しんだり。普段できない体験に最初は戸惑いつつ、終えたあとにはみなが笑顔になる大好評のプログラムでした。



2015.2.1

### ライフデザイン交流会

締めくくりに開いた「ライフデザイン交流会」。学生スタッフ4名が事業を通して学んだことを発表しました。社会人ゲストとトークセッションをした後は、グループに分かれてそれぞれが考えるライフデザインについてワークショップ。コーディネーターの山本清文さんが盛り上げてくれました。

# ケッコンとは？

結婚13年目で円満生活を送り、ご自身も結婚支援のお仕事をされている

石井美奈子さん。結婚にいいイメージを持ちたい学生スタッフ

永吉侑太くんが率直な疑問をぶつけてみました。

石井 今の若い子の結婚観に興味あるんだけど、永吉くんのイメージは？

永吉 正直、あまりいいイメージ持てないんです。自由がきかず、価値観も対立して大変って感じ。

石井 楽しいばかりでなく大変な面も正直あるけど、結婚してよかったと即答できます。父が病気でなくなったとき、彼の存在がすごく大きいと感じました。今の女性は自立している人が多くて極論言うと結婚しなくとも生きていける。でも、人と人が支えあって生きていくことで得るものって多いと思いませんか？

永吉 お互いの価値観が違うなかで、ストレスとかあると思うんですが…

石井 私たち夫婦は趣味も価値観も違います。それでもお互いを認め合って尊重し合っていればストレスはない。夫婦はいろんな形があっていいんじゃないかな？

永吉 なるほど。ところで石井さんは、行政が開設した「えひめ結婚支援センター」で結婚を支援されていますよね。結婚っていま、どういう状況なんですか？

石井 男性は5人に1人、女性は10人に1人が

50歳の時点で未婚なんです。結婚願望はあるのに、いい出会いがないというご意見もたくさんある。わたしの仕事は現在登録している独身男女10000人弱の方々の出会いの場を提供すること。「出会いがない」以外にも、女性は専業主婦志向があったり、結婚後も生活の質を落としたくないという方がいらっしゃったりします。一方で、男性は自分が養っていくかなきやと思っている方も多いんです。これが「結婚=お金がかかる」と思い、結婚を遠ざけている理由になっているかもしれませんね。

永吉 確かに、ぼくも結婚式をはじめ、子育てなどお金がかかるというイメージがあります。

石井 これからは男女とも役割を決めずに、経済的にも家庭的にも支えていかないといけないと思うんです。他人だった二人が支えあいながら家庭を築いていくことで、自分自身の人生を充実したものにしてくれるんじゃないかな。

永吉 結婚を少しリアルに考えることができました。幸せオーラ全開の石井さんをみると結婚してみたいと思いました(笑)



愛媛大学法文学部4回生  
永吉侑太さん

愛媛大学法文学部総合政策学科4年。  
「結婚・子育てにいいイメージがなかった」ので、学生スタッフに参加した。  
今春からは同大学の大学院へ進学。



えひめ結婚支援センター勤務  
石井美奈子さん

1970年生まれ。神戸女子大学を卒業後、旅行業を経て、「えひめ結婚支援センター」に勤務。現在、出会いのきっかけづくりに取り組む。広島出身の夫と結婚し、石井さんの実家で母親と3人暮らし。

人生の先輩の、こんな話も。

妻から  
「2人目の長男ね」。  
それでいい

まさか25歳で結婚するとは思ってもいなく、人生何が起きるか分かりません。職場では「管理職」「3児の父親」で通っていますが、妻からは「2人目の長男」と呼ばれています。子どものころに描いた威厳ある父親像とは違いますが、それでいいのだと思っています。

相手に頼るほうが  
バランスを保てる

結婚した当初は「良き妻になりたい」と思い、仕事も家事も頑張っていました。でもそれはでは続かない。夫、両親を頼ることで、逆に家族みんなが幸せになれる。うまくバランスとりながら過ごすようにしています。「ありがとうございます」と伝えるのも忘れないようしています。

夫婦は  
同じ目的地を目指す  
別々の電車

夫婦のイメージは、並列して走る2両の電車。結婚するまでは同じ線路を走る2両の電車だと思っていました。しかし実際は、助け合い、支え合いながら同じ目的地に向かってそれぞれの道を進むものだと気づきました。互いの道を、尊重しあうことが大切だと思います。

株式会社 あわしま堂  
野間須陽さん

1979年生まれ。近畿大学を卒業後、2003年株式会社あわしま堂に入社し、営業職に配属。05年に結婚し、現在管理職として勤務している。パート勤務の妻と男の子3人の5人家族。

ブリッジインターナショナル(株)  
重見千恵さん

1984年生まれ。愛媛大学を卒業後、愛媛県庁に勤務。2009年ブリッジインターナショナル(株)に入社後に結婚し、産休育休を経て、現在マネージャー職。公務員の夫と1児の3人家族。

株式会社 寿住宅  
寿野博志さん

1982年生まれ。広島大学を卒業後、横水ハウスに入社。2008年、広島から函館に帰京し、実家の事業の寿住宅に入社。現在は専務取締役。ラジオアナウンサーの妻と2児の4人家族。



# コンダーテとは？

5人のお子さんを育て、松山市小中学校PTA連合会会長などを経験してきた中村和恵さん。子ども大好きな学生スタッフ井上京香さんが子育ての極意を聞きました。

井上 子どもはとってもかわいいですよね。家庭を持ったら夫婦で協力したい。でも、私が育った家は共働きだけれど、母が子育てをして、父は仕事一筋という感じでした。

中村 お父さん、家族のために仕事を頑張ったんですね。ぼくも自営業なのでなかなか仕事を切り上げることができなかった。でもあの頃、妻は1分でも早く家に帰ってきてほしかったんです。自分で頑張ろうとしなくて、もっとパートナーを頼りにしていい。そのためにも、たくさんの夫婦で話し合うことが大切です。

井上 家庭科を専攻しているんですが、男女役割分業をなくすと教えられています。男性を家事・育児に巻き込むにはどうしたらいいでしょう？

中村 男性って実は、何をしたらいいかあまり分からない。「何か手伝おうか？」と言って妻に怒られちゃうって話、聞くよね。女性は「してほしいこと」を具体的にお願いすること。いまは女性も働く時代になり、仕事も家庭もとなって女性ばかりがしんどくなっています。協力して家庭を築くのが自然な形で、役割分担でなく

お互い気づいたことをやって助け合う方が楽しいと思うよ。夫婦で助け合うことが大事ですね。でも、2人だけで頑張る必要もないと思っています。2人でしんどいことは周りに頼る。外に助けてくれる人はいっぱいいるんだから！家族のことは家族で解決しなきゃと思いがちだけど、まったくそんなことはないんですよ。

井上 周りというのは両親とか地域の人たちってことでしょうか？

中村 基本的に子育てってみんなでやっているもの。両方の両親が松山市に住んでいますが、最初はできるだけ頼らないようにしようと思っていたけど、両親も頼られるとなじみのいいのだと後になって気付いたんです。

井上 PTA連合会会長など、中村さんはご自身のお子さまを通じていろんな活動をされていますね。

中村 子どもがどんどん縁をつないでくれるんです。子どもを授かって思うのは「幸せに巡りあった」ということ。忘れてはいけないのは、授かるのは決して当たり前のことではなく、奇跡なんです。



料理研究家、作曲家  
中村和恵さん

1964年生まれ。上智大学在学中から、音楽活動に専心。帰京後、家業の台所用品店を継ぎ、主宰の料理教室が評判に。3年前からフリーになり、テレビ出演、講演活動などマルチに活躍。妻と5子の7人家族。



愛媛大学教育学部3回生  
井上京香さん

愛媛大学教育学部総合人間形成課程3年  
大学では家庭科を学ぶ。「家庭科ってとっても大事な勉強なんです！」

人生の先輩の、こんな話も。

## 親子が互いの存在を認める関係に

共働きで預けることが多いため「自分のことは自分で」と子どもに伝え、自立できるようになっています。もちろんスキンシップは大事にしています。気を付けてているのは母親だけではなく、他者である、ということ。依存しそぎずお互いの存在を認め合う関係でいたい。

## 自分のできることを自然体でやる

家庭の役割を持つことが仕事のオンオフを切り替えるきっかけになっています。子どもを保育園に送っていました。お風呂入れと寝かしつけたりと、自分ができることをやっていくうちに自然と自分の役割ができてきました。近所の義両親や周囲の協力も大きな支えです。

## 役割何倍も増えた今が好き

子どもができたから自分の役割が何倍にも増え、いろんな人の出会いが広がりました。一人だった頃に比べて今の自分が好き。息子には何があっても愛し合い、支え合うのが家族だと伝えています。親だけでなくいろんな人から学ぶ機会を大切にしたいです。

### 松山赤十字病院 助産師 徳岡梨沙さん

1980年生まれ。松山赤十字看護専門学校卒業後、愛媛医療技術短期大学助産学専攻科で勉強。結婚後、松山赤十字病院で助産師として勤務。公務員の夫と2子の4人家族。

### 愛媛県立医療技術大学 保健師 入野了士さん

1974年生まれ。高知医科大学医学部看護学科を卒業後、保健師として自治体の仕事に従事。現在は愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科に勤務。公務員の夫と2児の4人家族。

### 愛媛トヨタ自動車勤務 和泉智子さん

1975年生まれ。松山大学人文学部卒業後、愛媛トヨタ自動車(株)に入社。現在、営業本部で採用・人財育成を担当し、女性スタッフプロジェクト「CoCoほわ」に企画・運営メンバーとして関わっている。



# ハタラクとは？

若者の就職をサポートする熊谷環さん。

結婚、子育てしながら働き続けています。就職活動を控えた学生スタッフ

板橋成美さんが、「働く」ことについて疑問をぶつけてみました。

板橋 熊谷さんはキャリアカウンセラーとして活躍されていますが、このお仕事を選んだ理由は？

熊谷 20代後半、メンタルヘルス相談員の仕事をしていました。従業員の心身の悩みを聞くうちに働く人がイキイキと生きることの大切さを感じ、この道に進みました。わたしにとって働くことは生きること。得られるものはお金だけでなく、やりがいや自分の存在意義、人とのつながりなど目に見えないものが大きいと感じます。

板橋 熊谷さんご自身は子育てしながら働いていますね。最近まで子どもが小さいうちは家にいてあげるべきと思っていたんです。

熊谷 「こうあるべき」という考えは自分がしんどくなるかも。「べき」を「～できたらいいね」に置き換えてみては？「べき」って自分の答えではなく、親の考え方や社会通念に縛られた物差しであること。「私は専業主婦になりたいのかな？」本当に家にいたいのかな？」と自分に聞いてみて。本当の気持ちに気付けたら、それを大事にしてほしいな。

板橋 熊谷さんご自身、べき論で苦しんだことは？



松山大学経営学部3回生  
板橋成美さん

「結婚・子育てに対するマイナスなイメージを変えたい！」という思いで2014年夏、ライフデザイン学生スタッフに参加。



熊谷 若いころは、「女性も働くべき」、「正社員であるべき」と思い込んでいました。でも大事なのはカタチじゃなく、自分が何を大事にするか。正社員でも、組織の中で受け身な人もいれば、非常勤でも組織に貢献している人もいます。モチベーションやその人の姿勢一つで、自分の満足度も組織からの評価も全然違ってくるんです。

板橋 実際のところ、結婚、子育てでは大変では？

熊谷 育児と仕事の両立は、職場の理解はもちろん、夫の協働作業が何より心強いです。わたしたち夫婦の両親は県外にいるので、子どもの急病で休むときは職場の方に代わってもらったり、病児保育を利用したり、夫と交替で休んだりして乗り切ってきました。一人では限界があるので、周囲のサポートには本当に感謝しています。

板橋 わたし自身、もうすぐ就職活動です。やりたいと思ってる仕事でも本当にそうのかな、と迷ってしまいます。

熊谷 自分の中にある答えを大事にしてほしい。自分がどうなりたいかをイメージして自ら選ぶ。そのためには肌で感じる情報収集が欠かせない。納得するためにもたくさん社会人や企業と会ってください。



ジョブカフェ愛work  
熊谷 環さん

1973年生まれ。愛媛大学を卒業後、小学校教員、民間健診機関での営業職や相談員等を経て、2005年からジョブカフェ愛workに。大学教員の夫と1児の3人家族。

人生の先輩の、こんな話も。

仕事の本当の形は  
人の役に立つこと

仕事の本当の形は人の役に立つこと。給料や収入はその返礼金だと思います。まずは、楽しむ。そしたら人が集まってくれる。こっそりはじめたプロジェクトも楽しんでいたら社内外に支援者ができ、気づけば今、全国展開となり各地を飛び回っています。

今やれることに  
一生懸命尽くす

置かれた立場で何ができるか見出すことが大事だと思います。どの道を選んでも、自分自身がどうするべきかで選択する。たとえ思い通りの仕事ができなくても、今やれることを一生懸命していたら必ず次にいきてくれる。そうやって今のわたし 있습니다。

「やめたくない」  
自分の本音に気づく

憧れの仕事に就いたものの専業主婦志向だったわたし。妊娠したとき「やめます」って上司に言ったら「本当にやめたいのか？」って言われたんです。よく考えたら本音は辞めたくなかつたんですね。反対だった家族を説得し、いまは夫婦で家事・育児もフォローし合っています。

株式会社 日本エイジェント  
樋口孝幸さん

1974年生まれ。愛媛大学を卒業後、98年地元ソフツウェア販売会社に入社。翌年に結婚し、日本エイジェントに転職。現在、無人店舗システムを全国展開中。妻と2子の4人家族。

株式会社 南海放送  
向井紀美子さん

1975年生まれ。東京の短期大学を卒業後、日本食研ホールディングスに事務職で就職。「研究職がやりたい」と2年目から開発員に。入社9年目で社内結婚。夫と3児の5人家族。

株式会社 南海放送  
下村章子さん

1982年生まれ。同志社女子大学を卒業後、積水ハウスに入社し、夫に出会う。2年後に南海放送に転職し、ラジオレポーターとして活躍。ママを応援するラジオ番組を作成。夫と2児の4人家族。



# ハタラクとは？

若者の就職をサポートする熊谷環さん。

結婚、子育てしながら働き続けています。就職活動を控えた学生スタッフ  
板橋成美さんが、「働く」ことについて疑問をぶつけてみました。

板橋 熊谷さんはキャリアカウンセラーとして活躍されていますが、このお仕事を選んだ理由は？

熊谷 20代後半、メンタルヘルス相談員の仕事をしていました。従業員の心身の悩みを聞くうちに働く人がイキイキ生きることの大切さを感じ、この道に進みました。わたしにとって働くことは生きること。得られるものはお金だけでなく、やりがいや自分の存在意義、人とのつながりなど目に見えないものが大きいと感じます。

板橋 熊谷さんご自身は子育てしながら働いていますね。最近まで子どもが小さいうちは家にいてあげるべきと思っていたんです。

熊谷 「こうあるべき」という考えは自分がしんどくなるかも。「べき」を「～できたらいいね」に置き換えてみては？「べき」って自分の答えではなく、親の考え方や社会通念に縛られた物差しであること。「私は専業主婦になりたいのかな？本当に家にいたいのかな？」と自分に聞いてみて。本当の気持ちに気付けたら、それを大事にしてほしいな。

板橋 熊谷さんご自身、べき論で苦しんだことは？



松山大学経営学部3回生  
板橋 成美さん

「結婚・子育てに対するマイナスなイメージを変えたい！」という思いで2014年夏、ライフデザイン学生スタッフに参加。



ジョブカフェ愛work  
熊谷 環さん

1973年生まれ。愛媛大学を卒業後、小学校教員、民間健診機関での営業職や相談員等を経て、2005年からジョブカフェ愛workに。大学教員の夫と1児の3人家族。

人生の先輩の、こんな話も。

仕事の本当の形は人の役に立つこと

仕事の本当の形は人の役に立つこと。給料や収入はその返礼金だと思っています。まずは、楽しむ。そしたら人が集まってくる。こっそりはじめたプロジェクトも楽しんでいたら社内外に支援者ができ、気づけば今、全国展開となり各地を飛び回っています。

株式会社 日本エイジェント  
樋口孝幸さん

1974年生まれ。愛媛大学を卒業後、98年地元ソフテウェア販売会社に入社。翌年に結婚し、日本エイジェントに転職。現在、無人店舗システムを全国展開中。妻と2子の4人家族。

今やれることに一生懸命尽くす

置かれた立場で何ができるか見出す事が大事だと思います。どの道を選んでも、自分自身がどうするべきかで選択する。たとえ思い通りの仕事ができなくても、今やれることを一生懸命していたら必ず次にいきてくる。そうやって今のわたしがあります。

株式会社 日本食研ホールディングス  
向井紀美子さん

1975年生まれ。東京の短期大学を卒業後、日本食研ホールディングスに事務職で就職。「研究職がやりたい」と2年目から開発員に。入社9年目で社内結婚。夫と3児の5人家族。

「やめたくない」自分の本音に気づく

憧れの仕事に就いたものの専業主婦志向だったわたし。妊娠したとき「やめます」って上司に言ったら「本当にやめたいのか」って言われたんです。よく考えたら本音は辞めたくなかつたんですね。反対だった家族を説得し、いまは夫婦で家事・育児もフォローし合っています。

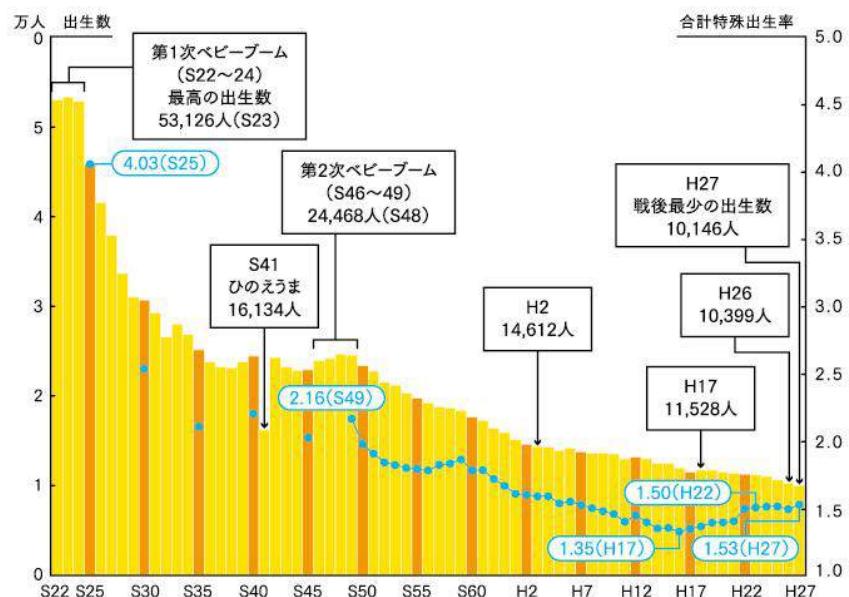
南海放送株式会社  
下村章子さん

1982年生まれ。同志社女子大学を卒業後、積水ハウスに入社し、夫に出会う。2年後に南海放送に転職し、ラジオレポーターとして活躍。ママを応援するラジオ番組を作成。夫と2児の4人家族。



## 愛媛県の出生数及び合計特殊出生率の推移

このデータは愛媛県で1年間に生まれる赤ちゃんの数を示しています。愛媛県の出生数は、第2次ベビーブーム(昭和48年)のときには24,649人でしたが、その後は徐々に減少傾向が続き、平成25年(2013年)には10,696人と、戦後最低を更新しています。愛媛県の合計特殊出生率が人口維持に必要といわれる2.07を最後に上回ったのは昭和49年(1974年)。その後は低下傾向をたどり、平成25年には1.52となっています。



資料：厚生労働省人口動態統計(H27年：愛媛県)

【合計特殊出生率とは】

1年次の15～49歳までの女性の年齢別出生数を合計したもので、1人の女性が一生に生む子どもの平均数を示す指標のことです。

出生数(5年ごと)

出生数(上記と同じだが1年ごと)

合計特殊出生率(県)

時代の変化とともに愛媛県だけではなく、全国的にも同様の傾向が続いている、少子化が進行しています。

# 2015

LIFE×DESIGN  
ACTIVITY REPORT



報告内の学年や所属先、  
家族構成などはその年度  
当時の情報です。

## 2015年の学生スタッフたち

2015年には新メンバーも加えた8名の大学生スタッフが参加しました。  
「ケッコンとは?コソダテとは?ハタラクとは?」を知りたいと、これから始まる活動について学生スタッフとなったきっかけや、活動への意欲を目標にしました。



あちゃん  
活動を通してより多くの学生さんに仕事、結婚、子育てなど将来について考えるきっかけを与えることができたらいいなと思います!

[愛媛大学3回生]



あゆりん  
様々な活動に参加することで、自分自身のライフデザインにもつなげたいと思っています。よろしくお願ひします。

[松山大学2回生]



ふたみん  
私自身ライフデザインについてよく分かっていないので、学びながら活動していきたいと思っています!!

[松山大学2回生]



とも  
好奇心旺盛。趣味は工作。好きな色は青。特技は三味線と落語。社会政策ゼミ所属で特に子どもの問題に関心があります。

[愛媛大学3回生]



ひよこ  
自分の将来について考える良い機会にしたいです。そして、多くの学生さんに結婚、子育てについて考えてもらえるように頑張ります。

[松山大学3回生]



まっちゃん  
「結婚出産子育て」こんなに身近なのに"愛情があって難しくて大変でよく分からんもの"って他にない気がします。だから知りたいです。

[愛媛大学3回生]



A吉  
一期一会。人との出会いを大切にしながら自分らしく取り組んみたいです。蜜柑と鰐をこよなく愛する九州男児。今期もよろしくお願いします。

[愛媛大学大学院生]



たっちゃん  
人生は仕事だけではもったいない。全力で休むために全力で仕事と子育ての両方を頑張ってみたいです。

[愛媛大学3回生]

## 活動報告



2015.6.21

### ライフデザイン公開講座

キックオフイベント「ライフデザイン公開講座」は、愛媛大学総合情報メディアセンターで開催。大学生・社会人合わせて38名の参加者にお越しいただきました。ファザーリング・ジャパン代表理事の安藤哲也氏を迎へ、ゲスト5名が「えひめで働き・暮らす若者を増やすには?」をテーマにトークしていただきました。



2015.7~2016.1

### ライフデザイン出張講座

松山大学、愛媛大学、松山東雲短期大学、聖カタリナ大学、聖カタリナ短期大学、松山ビジネスカレッジで計12回、総勢1000人強の学生さんを対象に行われた「ライフデザイン出張講座」。社会人ゲストを迎へ、就職・結婚・子育て・共働きなど毎回異なるテーマでお話いただきました。将来の選択肢の幅が広がったと多くの感想をいただきました。



2015.9~2016.1

### コソダテ体験

保育施設や実際の子育て家庭にお邪魔した「レッヅ子育て体験」。子どもと触れ合ったり、先輩たちの結婚のきっかけ、仕事と子育ての両立、夫婦の事などリアルなトークを楽しんだり。普段できない体験に申込み殺到!たくさんの学生たちが参加してくれたプログラムでした。



2016.2.7

### ライフデザイン交流会

締めくくりに開いた「ライフデザイン交流会」。学生スタッフ3名が活動報告や事業を通して学んだことなどを発表しました。後半は「理想の就職・結婚・子育て」をテーマに自分たちが思い描く将来をマップにし社会人とグループワーク。紙に書いたことでイメージしやすかった、楽しかったと感想をいただきました。

# ケッコン&シユッサンとは？

助産師として現場でも地域活動でも活動している黒田優子さん。  
学生スタッフの西村智恵さんがライフデザインの切り口として  
妊娠・出産について率直に疑問をぶつけてみました。

西村 助産師になって何年くらいですか？

黒田 40年になります。助産師の役割はお母さんの産む力、赤ちゃんの生まれる力を引き出すこと。文字通り、生むのを助けるのが助産師です。リラックスしていないと、生む力って引き出せないので安心を与える雰囲気作りも助産師の仕事なんです。

西村 妊娠、出産に向けて、学生のうちから気をつけると良いことってありますか？

黒田 食べた物で身体は作られるから、しっかり栄養のあるものを食べないとね。女性ホルモンはすごく大切で、骨をつくるし、血液循環もするから。できれば、月経のサイクルをしっかりと基礎体温も測ってほしいな。

西村 今からきちんとおく必要があるんですね！

黒田 今の自分の健康状態が、子どもの健康にも影響を及ぼすからね。お産についても、どんな出産がしたいのか、どこで産みたいのか、考えておくことも必要かもしれませんね。何世代もつないでいく命だから、まず自分自身を大切に思ってほしいですね。

西村 わたしは子どもがほしいと思っていますが、まだまだ先の話だと。

黒田もちろん、産まないという選択肢もあります。でももし子どもが欲しいのなら、早めに人生設計することをオススメしますよ。

西村 わたしの周りは就職のことで頭がいっぱいです。出産のことまで考えられないのが現実です。

黒田 今の時代の女性は、仕事を始めると意外と出会いがないまま仕事のキャリアを積んでいく。もうそろそろ結婚したいなって思うのがだいたい30～35歳くらい。その頃には妊娠する力が20代よりは下がっているんです。その現実にみなさんビックリされるんですよ。

西村 不妊治療とかってよく耳にします。

黒田 いま6組に1組が不妊なんです。一口に年齢だけが原因ではありませんが。そして、不妊は女性だけの問題ではなく、男性にも原因はあって、だいたい五分五分と言われています。もししくつで子どもがほしいなど考えて、逆算していまは何をすべきかと考えてみるのもいいかもしれませんね。

西村 東京では、結婚や子育てを両立できる会社を選ぶ女子学生が増えているみたいなんですが、逆に男子学生でそこまで考えている人は聞いたことがありません。

黒田 そうですね。結婚、子育てでキャリアアップを断ち切るような会社は選ばないようにしないといけませんね。そして世の中が、子どもを育てながらもキャリアアップできるようになったらいいですね。



愛媛大学3回生  
西村 智恵さん

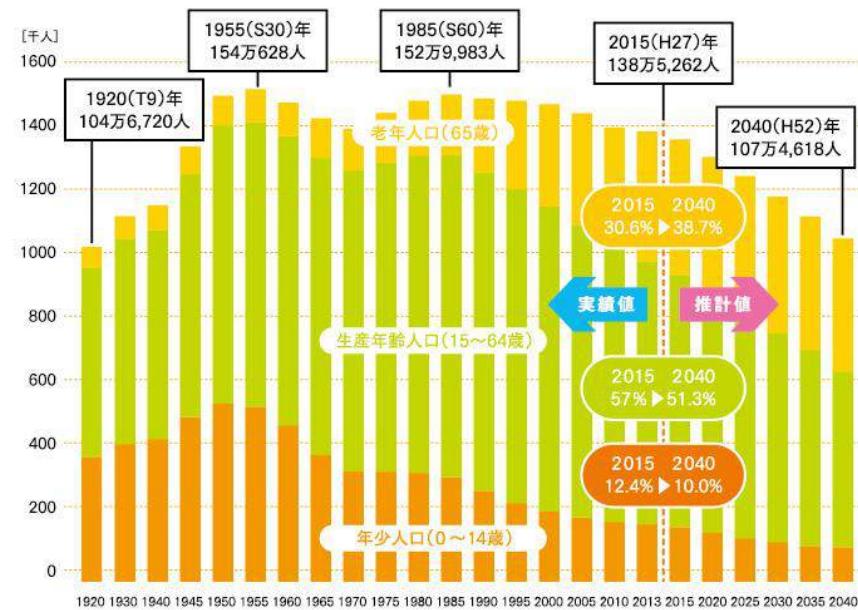


(社)愛媛助産師会会長 助産師  
黒田 優子さん  
愛媛県生まれ。保健師、助産師、看護師免許取得。2008年より現職、助産師として14年間臨床を経験後、看護系大学で看護師、助産師、保健師を目指す学生の教育に携わった。

## 愛媛の総人口の推移と将来推計人口

このデータは愛媛県内の人口を年齢別に分けたもので、色別で見ると、どの年齢層が多いのかが分かります。

愛媛県の総人口は、1985年に約153万人を数えましたが、その後は緩やかな下降曲線を描いており、2013年(平成25年)には、約140万人にまで減少しています。今後もこの傾向は続き、2040年(平成52年)には、約107万人まで減少、特に年少及び生産年齢人口の割合が減少すると予想されています。



資料：国勢調査(愛媛県より提供)

2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所  
「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)による」

- 老年人口(65歳以上)
- 生産年齢人口数(15歳～64歳)
- 年少人口(0歳～14歳)

表を見て分かるように、年々出生数(P11参照)が減り、高齢者の数は増えている。死亡数が出生数を上回る自然減に加え、他県への転出による社会減も影響しています。緑色の生産年齢人口がこの先も減少すれば、高齢者を支えていくことが困難となる。

## 任命式を行いました

2015年度も8名の大学生が学生スタッフとして参加してくれました。愛媛県庁で学生スタッフの任命式を開催することになり、一人一人スタッフとして参加した理由や抱負などを発表しました。



2016年度は13名の大学生が学生スタッフとしてプロジェクトに参加してくれました。昨年から開催している任命式は7名のスタッフが出席し、代表の学生スタッフからプロジェクト参加への抱負を発表しました。任命式にはえひめのゆるキャラ“みきやん”も応援に来てくれました。



# 2016

LIFE×DESIGN  
ACTIVITY REPORT

報告内の学年や所属先、  
家族構成などはその年度  
当時の情報です。



## 2016年の学生スタッフたち

2016年度には13名の学生がプロジェクトへ参加しました。

「ケッコンとは?コソダテとは?ハタラクとは?」を知りたいと、これから始まる活動について学生スタッフとなったきっかけや、活動への意欲を目標にしました。



さっち

〔愛媛大学3回生〕

活動を通して、普段あまり考えることのない結婚や子育てといったライフデザインについて考えていきたいです!



西谷琴海  
〔愛媛大学2回生〕

自分自身のライフプランについて見つめつつ、考え方、周りの方々にもその輪を広げていきたいと思います。素敵なお未来を見据えられるよう活動に取り組みたいです。



寺岡新菜

〔愛媛大学2回生〕

自分らしさを活かしたライフデザインを考えたい!趣味は詩吟。皆と違う経験をしてきたことを活かして、多くの人に参加してもらえるように頑張ります!



一色成美

〔松山東雲短期大学2年生〕

保育と子育て。自分が将来働く時、子育てするときに繋げていけるように活動して行こうと思います。よろしくお願ひします。



小池利奈

〔愛媛大学2回生〕

社会の結婚・子育てに対する意識を少しでも変えたい!将来立派な母親になりたい!熱い思いを持って頑張ります☆



そらいろ

〔愛媛大学1回生〕

新しいことに挑戦する機会をいただけたので、この活動を通して、自分自身が成長出来たらいいなと思います。



岡田幸士

〔松山大学3回生〕

これまで自分の将来と真剣に向き合ってことがなかったので、活動を通して明確な将来の構想をしたいと考えています。よろしくお願ひします。



ちえ

〔松山東雲短期大学1年生〕

保育士になった時、ここでの経験を活かせるよう子育てについて特に力を入れていきたいと思います。



ゆい  
〔松山東雲短期大学1年生〕

短大で保育の勉強をしているので、この活動で勉強になると想い参加しました。また将来役に立つ感じたので出来るだけたくさんの活動に参加していきたいと思います。



木村千加  
〔松山東雲女子大学3回生〕

将来保育士になった時、自分が子育てをする時に少しでも活かせるように保護者の気持ちや悩みを少しでも理解できるように活動していきたいと思います!よろしくお願ひします。



るな  
〔松山東雲短期大学1年生〕

子どもともっと関わる機会に将来像を考えてみようと思っています!また、ライフデザインについてよくわかっていないところもあるので、活動を通して学んでいきたいです。



ふっくー  
〔愛媛大学1回生〕

働くこと、子育て、どんな風にすればいいのかな?きっと答えは一つじゃないけれど自分だけの面白い生き方と一緒に探しましょう。



松本結衣  
〔松山東雲女子大学3回生〕

子どもについて、保護者との関わり方について、大学だけでは学べないことを学び、積極的に活動していきたいと思います!よろしくお願ひします。

## 活動報告

2016.7.9

### ライフデザイン公開講座

キックオフイベント「ライフデザイン公開講座」は、愛媛大学校友会館2Fサロンルームで開催。大学生・社会人合わせて20名にお越しいただきました。ゲストコメントターに、ファザーリング・ジャパン理事の徳倉康之氏を迎えて、司会はやのひろみさん。講座はワールドカフェ形式の男子会×女性会「少子化は僕らの未来に関係あるのか?!」をテーマに本音トークしました。



2016.5~2017.1

### ライフデザイン出張講座

出張先は愛媛大学、松山大学、聖カタリナ大学、聖カタリナ短期大学、環太平洋短期大学、松山ビジネスカレッジ。今年度から高校生も対象となり聖カタリナ高校、愛光学園、松山東雲高等学校にもご協力いただき、総勢1480人の学生さんを対象に行われた「ライフデザイン出張講座」。社会人ゲストを迎え、就職、結婚、子育て、共働きなど毎回異なるテーマでお話いただきました。親以外の大人が話を聞くことが新鮮だった、選択肢は無限にあることが知れた、などたくさんの感想をいただきました。



2016.2~2017.2

### コソダテ体験

今年度の子育て体験は主に学生スタッフが中心となり企画・プロデュースしました。従来の保育施設や実際の子育て家庭にお邪魔した「レッツ子育て体験」に加え、習字の師範を持つスタッフが、多機能学童保育“すくっど”さんで、小学生を対象とした「習字教室」なども開催いたしました。乳幼児から小学生まで幅広く子どもたちと触れ合うことができました。



2017.2.11

### ライフデザイン交流会

プロジェクトの締めくくりに集大成として開いた「ライフデザイン交流会」。学生スタッフ13名が活動報告や事業を通して学んだことなどを発表しました。保育科の学生による子ども向け手遊び歌では、参加者の子どもたちと一緒に楽しめる工夫がされていました。後半は社会人ととのワークショップ「理想の就職・結婚」をテーマに自分たちが思い描く将来を話し合いました。



# 先輩たちの ライフデザイントーク

LIFE×DESIGN TALK  
vol.01



穴吹卓大さん【愛媛大学1回生】

愛媛大学法文学部人文社会学科。理想の家庭像を追い求めライフデザインプロジェクトに参加。最近の悩みはよく鳥に卵を落とされること。

坂本敦志さん【愛媛新聞社】

1971年生まれ。福岡大学を卒業後、愛媛新聞社に入社。様々な部署での経験があり、ジュニアえひめ新聞担当も。2015年に生活文化部長となる。妻と2女の4人家族。

01

仕事も家庭も充実した生活に憧れる穴吹卓大さんが、仕事も家庭も充実している“理想のオトナ”坂本敦志さんにインタビューしました。

穴吹 新聞記者は、『8時に出社して、5時に退社する』ような働き方ができないイメージなのですが、子どもと遊ぶ時間などはどうのように確保しているのでしょうか。

坂本 おっしゃる通り、自分のペースで仕事ができないので、時間は無理やり作るよう心がけています。決めているのは、週1回は子どもの起きている時間に帰ること。土日の取材には、先方の許可を得て子どもを連れて行ったりもします。

穴吹 家族との予定があるのに、急に取材が入ったりすることはないのでしょうか。

坂本 ありますね。そんな時はひたすら謝るしかない(笑)。お土産買って帰るとか。フォローが大切だね。『仕事柄帰るのが遅い』ということを家族に理解してもらう必要がある。だから、子どもを職場に連れて行くこともあります。

穴吹 僕だったら、職場に自分の子どもを連れていく勇気が持てそうにありません。

坂本 子どもとの時間が少ないと自分もストレスなので、そこは開き直って。

穴吹 仕事や自分のやりたいことが制限されてしまうのに、結婚や家庭を持つことを選んだ理由は何でしょうか。

坂本 結婚する前に考え出したらできないし、人生は思い通りにはならない。だから、あまり考えることに意味はないと思う。

穴吹 じゃあ、結婚って流れなのですかね。

坂本 うちはわりと流れかな?『とにかくこの家族という関係をうまく進めていこう』という思いがまずあって、それを優先順位のトップでやっていけば何とかなるかな。

穴吹 なるほど。

坂本 それと、コミュニケーションは大事。話すこと・理解してもらうことが何よりも大切。そこを面倒くさがると夫婦として何をやってもうまいかないと思います。

穴吹 よい家庭をつくるためのコミュニケーションの秘訣はありますか。

坂本 宣言したらいいと思う。『自分は家族という関係をとても大切に思っている。だから維持するためには何でもするよ』と。あと、どうしても直してほしいところは伝える。相手の嫌がることはしない。家族であることを楽しむことが1番かな。

穴吹 そういう宣言って照れくさくありませんか。

坂本 照れくさいけどなりきって言うんだよ。時には役者さんのように(笑)

02

フリーカメラマンとして活躍中の重岡真美さん。

そこに至るまでの様々な経験と、仕事と家庭を両立する原動力について夢を追いかけている伊藤心さんが聞いてみました。

伊藤 重岡さんは、ポジティブな方だとお伺いしましたが、子どもの頃からそうでしたか?

重岡 元々はネガティブなタイプだと思っていた。考え込んだり、いい方法を悩んだりするのが好きなんです。今は表面にはあまり出てこないのかもしれません。

伊藤 そうだったんですね。ポジティブに捉えられるようになったきっかけは何ですか?

重岡 やはり「出産、育児」が大きいですね。目が回るくらいに忙しくて、悩んでいる余裕がなくて。そのうち「悩んでも悩まなくて同じじゃない?」と思い始め、あまり悩まなくなりました。悩んでいるうちって考え方「自分中心」になりがちなのですが、最近はとにかく「相手」が喜ぶことを考えて動くようになっています。そうすると不思議とポジティブになるし、いい空気感が生まれる気もします。

伊藤 結婚や出産により退社されたそうですが、迷いはありませんでしたか?

重岡 最初の会社はとても忙しかったので、夫の希望もあり、結婚を機に辞めることを決めました。今のように時短勤務をしている方が周りにいなかったので。女性の場合、続けたくても続けられないこと

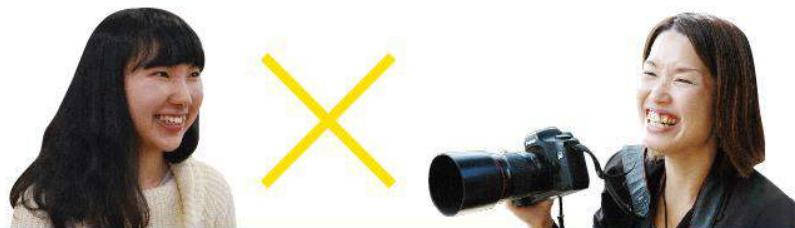
があるかもしれません、そこから新たな道を開くこともあるのかな、と思います。

伊藤 確かに家庭を持つと、自分のことだけを考えるわけにはいかないですよね。今はダブルワークされているそうですが、家族に支えられると感じることはありますか?

重岡 以前は自分ばかり頑張っている気分になつて、余裕がなく、あまり感じていませんでした。でも、頼るしかない場合もあるし、夫も家事や育児に参加せざるを得ない状況になっています。結果として今はお互いが支え合っていると感じています。できる方でできることをやって、家族といふチームを作り立たせる。母一人の個人プレーではなく、チームだと思うことがいい方向に向かうコツだと思います。

伊藤 チームプレー、素敵ですね。ダブルワークと家庭の両立方法はありますか?

重岡 一人で抱え込まず思い切って頼ることかな。気持ちちは言わないと伝わらない。子どものご飯お願いね!など、試しに頼ってみるといいですね。私がバタバタしているのを見て、娘たちも自然と手伝ってくれるようになりました。ピンチはチャンス、家族全員でレベルアップしているな、と思います。



伊藤心さん【愛媛大学1回生】

愛媛大学理学部地球科学科。将来やりたい仕事があり、仕事と家庭を両立していくたいという想いから、ライフデザイン学生スタッフに参加。

重岡真美さん【Lentil Photograph】

1979年生まれ。松山大学を卒業後、ウェブサイト制作会社へ入社。学生時代からカメラに興味があり結婚を機に退職。いよココロザシ大学勤務のかたわら、フリーカメラマンとしても活動中。夫と3女の5人家族。

LIFE×DESIGN TALK  
vol.02

# 先輩たちの ライフデザイントーク

LIFE DESIGN TALK  
vol. 03

03

産休・育児休業を利用しながら働き続けている加納飛鳥さん。

現在は2回目の育児休業中。子育てをしながら働き続けたい西谷琴海さんが、制度利用について、疑問をぶつけてみました。

西谷 産休や育休を、「取りにくいなあ…。」と思うことはなかったですか？

加納 全然！先輩に育休をとっている方がいたので参考になりました。不安もあったけど、「復職した時にしっかり頑張っていい仕事をしてくれたらいいのよ」と先輩に言ってもらって、なるほど…！って。

西谷 安心して産休に入る「信頼関係」を築くことも大切ですね。子育てしながら仕事のこととか考えますか？

加納 考えます。だから、子どもや夫婦間の関係は日頃から良好にしておかないと、と。心配事が増えると、仕事にも影響してしまうし、逆に仕事がうまくいかないと家庭に影響が出てきたり。しんどいときは早めに休んで、無理をしないようにします。

西谷 そんな時、旦那さんは手伝ってくれますか？

加納 フォローしてくれますね。しんどい時は、お互い協力し合っています。

西谷 素敵ですね！そいえば産休って、いつ頃からとれるんですか？

加納 出産予定日の6週間前からです。特に産前の休暇は自分の身体やお腹の赤ちゃんと向き合いながら自分で取得する期間を決めます。直前まで働く方もいま

すよ。情報収集は必須です。他にも保育園のこととか。4月に入園するための申請って、この辺では前年の12月に終わっちゃうの。しかも年度によって期限が変更されてたりするので、こまめに調べておく必要があるんです。

西谷 そうなんですか！？そんなに早いなんて…

加納 自分で調べるのは大変だから、うちの会社では育休経験者から選任された「両立支援アドバイザー」に相談できるの。会社の中からそういう情報を発信してサポートできるってステキよね。

西谷 本当ですね～！では最後に、産休とか育休を取得したこと、加納さんにとっていい転機になったことってありますか？

加納 休みの期間に自分の働き方についても考えることができて、新しい気持ちで仕事に向かうことができました。今回の育休を機に、10年間やってきた仕事を別の人へ引き継いだんです。でもそのことが結果としてステップアップにもつながったと思う。産休や育休をとると仕事に差し支える…というイメージの方も多いと思うんですが、キャリアが途切れちゃう…と考えるのは、もったいないと思います！



西谷琴海さん〔愛媛大学3回生〕

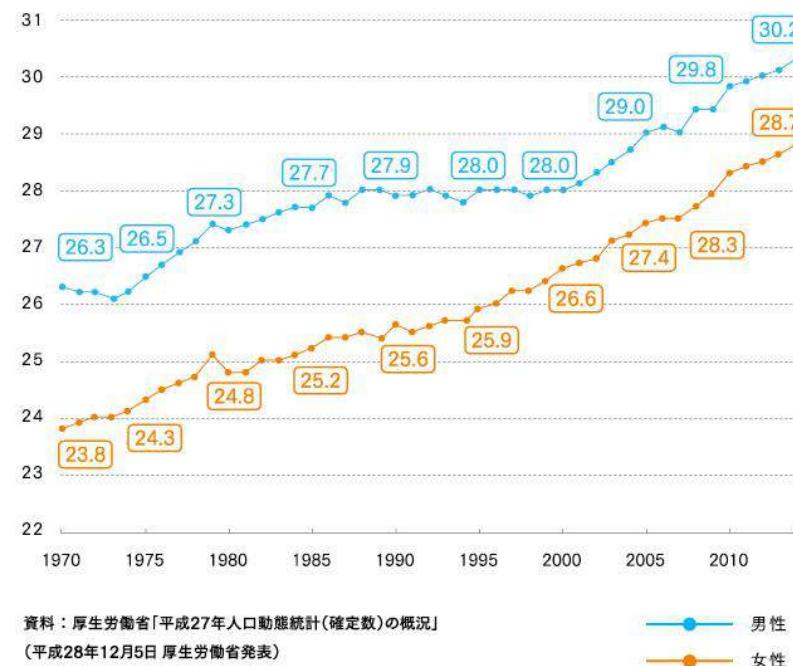
愛媛大学教育学部教育教員養成課程、将来、高校教員を目指す。小さい子どものことを知りたいと学生スタッフに、育児休業の仕組みや仕事と子育ての両立について、ずっと気になっていた。

加納飛鳥さん〔佐川印刷(株)〕

1981年生まれ。愛媛大学を卒業後、佐川印刷へ入社。第一子妊娠を機に産休・育児休業を取得し、復帰後は時短制度を利用しながら勤務。経営管理部次長となる。2017年6月までは第2子の育児休業中。夫と1男1女の4人家族。

## 愛媛の平均初婚年齢の推移

このデータは愛媛県内で結婚している人の年齢の、平均を取ったものです。愛媛県の平均初婚年齢は、平成25年（2013年）に男性が30.1歳、女性が28.6歳となっており、いずれも年々上昇しており、晩婚化が進行しています。



資料：厚生労働省「平成27年人口動態統計(確定数)の概況」  
(平成28年12月5日 厚生労働省発表)

全国平均[2017年]

男性:31.1歳

女性:29.4歳

約40年間で、男女とも初婚年齢が上がり、現在は30歳前後で結婚する傾向がみられる。

P11でも紹介したが、結婚年齢の上昇は出生数にも影響する。

# 先輩たちの ライフデザイントーク

LIFE×DESIGN TALK  
vol. 04



下江咲希さん [愛媛大学3回生]  
愛媛大学法文学部人文学科。  
結婚など将来のライフイベントについて、子育てを行う社会人の方との交流を通して「将来のライフデザインについて考えたい」と、この事業に参加。

児玉万年さん [(有)ラボール]  
1974年生まれ。松山大学を卒業後、大手食品メーカーに入社。2008年に(有)ラボールへ転職。現在は、取締役統括マネージャーに。研究職の妻と1男2女の5人家族。

04

3人の子どもの育児に積極的に関わっている育メンの児玉万年さん。  
結婚願望はあるけれど、自分の時間が減ってしまうことに不安を抱く  
学生スタッフの下江咲希さんが「結婚」「子育て」について疑問をぶつけてみました。

下江 児玉さんは以前、結婚願望はなかったという風におっしゃっていましたが、結婚しようと思われたのはなぜですか。

児玉 30歳手前でまわりの友人たちが次々と結婚していく中で、自分も結婚を意識し始めるようになったかもしれません。同期入社でしっかり者の妻は自分を支え、成長させてくれました。それが結婚の決め手となったと思います。

下江 私も結婚するうえで、一緒にいることでお互いが成長しあえる存在であることはすごく大切だと思います。児玉さんが結婚後と子どもが生まれた後で変化した部分はありますか。

児玉 結婚後は家事を分担してやっていましたが、妻が産休に入った頃、私は仕事が忙しくなり、「休んでいる人がやるのが当たり前」という風に意識が変わってしまって、子どもが生まれた後も家事・育児をほとんど妻がしていました。出産後4～5ヶ月経った頃、自分一人で子どもを見ることになった時、泣きわめく子どもにどう接したら良いのか分からなくて…。自分の子育てに対する知識のなさと、妻の苦労を感じたことから、共に協力して

子育てをしていこうと決めました。出産に立ち会ったことも、子どもに対する意識が変わるきっかけになったと思います。

下江 児玉さんは子育てにすごく積極的に関わっていますよね。私は結婚することで、自分の時間が減ってしまうのではないかと不安に思っていて…。児玉さんが自分の時間を作るために工夫されていることはありますか。

児玉 結婚したての頃は自分の時間がないと思っていた。遊びに行きたくても行けないとか(笑)。でも、子どもが生まれてからは、一緒に楽しむことができる共通の趣味を持つようにしています。子どもたちが成長したら一緒に遊んでくれなくなるかな?と思うので、今は子どもも自分で楽しめるイベントを企画するようにしています。うちの場合は「キャンプ」。キャンプにはパパ友やママ友も一緒に参加しているんだけど、悩みを相談し合ったりして、とても楽しい時間ですね。

下江 共通の趣味って素敵ですね。私は食べ歩きが趣味なので、将来子どもが生まれたら子どもと一緒に食べ歩きに出かけたいです!

保育士として働く木村さんと、自身で幼稚園を立ち上げた西村さんに男性ならではの保育観を、春から保育士として働く一色成美さんが直撃インタビューしました。

一色 保育士になったきっかけは何ですか?

西村 なぜか中学生の頃にからずっと保育士になりたいと思い続けていました。

木村 もともとは、児童厚生員になりたいと思っていました。児童館のジュニアボランティアに入っていた時に出会った方と一緒に働きたい!と思ったんです。

一色 保育と子育ては違うと思うのですが、子どもが生まれたことで気持ちの変化はありましたか?

西村 大きい年齢のクラスを一人で担任していたので、家族で出掛けられる日が年に3回くらいしかないように気付いて。ちょうど10年経ったこともあります。家族との時間も大切にしたいと考え、保育の現場から離れる決断をしました。

木村 ぼくは、保護者の気持ちを知りたい、寄り添いたいとずっと思っていました。保護者の立場でないと保護者の気持ちを理解することは難しいと思ったから。子どもがいることは、親としても保育士としてもプラスになっていると思います。

一色 保育士と保護者の目標に立ったことで子育てをしている時、保育士をしていて良かったと思うことはありますか。

西村 突然何かが起ったとき、落ち着いて状況を判断できているのではと思います。

木村 自然と子どもに分かりやすい言葉を選択しながら、きちんと物事を話し、関わったりすることができている感じます。

一色 子育てで奥さんと意見の相違があったときはどうしていますか?

西村 人によって保育観は違うと思うので、そこは口を出さないようにしています。僕は子どもを叱る係で、妻には甘えられるようになっています。

木村 妻の意見を優先することが多いです。父親と保育士は違うから、父親のときは保育者ではなく父親として接しています。

一色 保育士として一番大切なことはありますか?

西村 子どもや親は関係なく、1人ひとりをもっと見ていき、対応をしていきたいと思っています。その人にあった事を伝えたり、接したりしていきたいと思います。

木村 尊敬している方から、「鳥の目、アリの目を持ちましょう」という言葉をいただきました。広く全体を見渡せる目、細部まで行き届く目を持ってすべての子どもと関わっていきたいと思います。

# 先輩たちの ライフデザイントーク

LIFE×DESIGN TALK  
vol. 05



一色成美さん [松山東雲短期大学2年生]  
松山東雲短期大学保育科。  
社会人と交流をして様々な考え方があることを見聞きし、将来働くとき、子育てをするときに活かしたいと思い、学生スタッフに参加。

西村祐典さん [にじいろえんぴつ]  
1985年生まれ。大学を卒業後保育士として勤務。10年間務めた保育士を辞め、2016年に自宅で幼稚園「にじいろえんぴつ」を開業。妻と1男の3人家族。

木村裕也さん [松山認定こども園 星岡]  
1984年生まれ。専門学校を卒業後、幼稚園教諭と保育士として働く。その後、出版社へ転職しマーケティングスタッフとして勤務。2013年に再び保育教諭として入社、現在副主任として現場に関わる。妻と2男の4人家族。

## こんなことやりました



### おしゃれをするように私の体を知り 未来をイメージする講座

今年度初、他団体とのコラボ企画です。体から知るライフデザインという観点で、若者に正しい性の情報を伝える活動をしている、ピアリンクinえひめさんに協力をいただきました。ゲストコメンテーターにはNPO法人愛媛がんサポートおれんじの会、代表松本陽子さんに自身の経験談や“若いうちから自分の体を知ることは大切”というメッセージを伝えていただきました。



### 街角ライフデザイン

学生スタッフが企画プロデュースした講座です。三番町にあるシェアCafeで、食事をしながら楽しめる講座を開催。高校生～社会人に参加を呼びかけ、自分たちが思い描く未来について語り合いました。



### 学生スタッフ座談会

プロジェクトスタッフとして1年間活動を通じたことなどを座談会形式でわいわい話しました。「たくさんの社会人の話を聞いて参考になった」「人前で話すのが苦手だったけど、自信がついた」「子どもと関わって楽しかった」などたくさんの意見を共有できた時間でした。

## 保育体験 in みかんキッズクラブ

学生スタッフのさっちです。11月25日(金)に、伊予市にある小学生対象の児童クラブみかんキッズクラブさんにて実施した保育体験についてご紹介します！



まずははじめに、子どもたちが英語で欲しいお菓子を伝え、100\$分のお買い物をする「英語版お店屋さんごっこ」をしました。英語の勉強であり、数学の勉強でもあるという初めて見るタイプの「お店屋さんごっこ」でした！



次に、英語で描かれた絵本の読み聞かせがありました。登場人物の猿が出てくるたびに子どもたちが「モンキー！」と言う姿がとても可愛くて、癒されました！



そして、絵本の後は「宿題タイム」でした。分からなかった問題を「お姉さん解き方教えて！」と聞きに来てくれる子や「音読聞いて！」と教科書を持ってくる子もいて、最初は初めてのことに戸惑いましたが、凄く嬉しかったです！

Illustration／あさの

## わたしたちの活動年表

2014年度

- 7月5日 ライフデザイン公開講座を開催
- 8月 公募の大学生スタッフ8名がスタッフに。
- 10月29日 松山大学経済学部(熊谷太郎氏協力)でライフデザイン出張講座
- 12月5日 松山東雲短期大学(桐木賜子氏協力)で2授業の出張講座・ライフデザインホームページ開設
- 12月15日 愛媛大学女性未来育成センター主催「リケジョ就活カフェ」で講座協力
- 12月16日 愛媛大学法医学部ゼミ(丹下晴喜氏協力)で出張講座
- 11月~2月 下記5施設で子育て体験  
子育てひろばくーふあん、星岡保育園、生石保育園、虹のそら保育園、松山東雲短期大学附属幼稚園  
+共働き・子育ての4家庭に訪問体験(お宅訪問)
- 1月13日 松山大学経済学部熊谷ゼミ生向けに出張講座
- 2月1日 ライフデザイン交流会を開催
- 2月末 ライフデザイン冊子完成、配付

2015年度

- 6月21日 愛媛大学でライフデザインキックオフ公開講座を開催
- 7月10日 公募8名の大学生が学生スタッフに決まり愛媛県庁で任命式
- 7月21日 聖カタリナ大学人間健康福祉学部(矢島伸浩氏協力)でライフデザイン出張講座
- 10月16日 松山大学経済学部社会人セミナー(安田俊一氏協力)でライフデザイン出張講座
- 10月27日 松山大学経済学部熊谷ゼミ(熊谷氏協力)でライフデザイン出張講座
- 11月9日 愛媛大学工学部(前田真氏協力)でえひめ学×ライフデザイン出張講座
- 11月13日 松山大学経済学部社会人セミナー(安田氏協力)でライフデザイン出張講座
- 11月19日 松山ビジネスカレッジ情報ビジネス学科(藤田京子氏協力)でライフデザイン出張講座
- 11月25日 愛媛大学法医学部(前田氏協力)でえひめ学×ライフデザイン出張講座
- 12月1日 愛媛大学法医学部丹下ゼミ(丹下氏協力)でライフデザイン出張講座
- 12月3日 聖カタリナ短期大学部保育学科(竹田信恵氏協力)でライフデザイン出張講座
- 12月11日 松山東雲短期大学部現代ビジネス学科(桐木氏協力)で2授業の出張講座
- 9月~1月 下記5施設で子育て体験  
子育てひろばくーふあん、虹のそら保育園、松山隣保館保育園、愛媛大学城北保育所えみかキッズ、  
カタリナ子育て支援ひろばばっこ++共働き家庭(育休中含む)子育ての3家庭に学生スタッフが訪問(お宅訪問)
- 2月7日 ライフデザイン交流会を開催

2016年度

- 5月30日 愛媛大学教育学部(前田氏協力)でえひめ学×ライフデザイン出張講座
- 6月29日 公募13名の大学生が学生スタッフに決まり愛媛県庁で任命式
- 6月30日 愛媛大学教育学部(平尾智隆氏協力)でライフデザイン出張講座
- 7月11日 聖カタリナ大学人間健康福祉学部(矢島氏協力)でライフデザイン出張講座
- 7月21日 聖カタリナ大学人間健康福祉学部(矢島氏協力)でライフデザイン出張講座
- 9月2日 松山ビジネスカレッジクリエイティブ校 総合デザイン学科(藤田氏協力)でラフデザイン出張講座
- 9月14日 松山ビジネスカレッジクリエイティブ校 ファッションビューティー学科(藤田氏協力)でラフデザイン出張講座
- 11月15日 愛媛大学法医学部丹下ゼミ(丹下氏協力)でライフデザイン出張講座
- 11月16日 愛媛大学法医学部丹下ゼミ(丹下氏協力)でライフデザイン出張講座
- 11月22日 環太平洋短期大学部保育学科(黒澤寿美氏協力)でライフデザイン出張講座
- 12月2日 聖カタリナ短期大学部保育学科(竹田氏協力)でライフデザイン出張講座
- 12月21日 松山大学経済学部(熊谷氏協力)でライフデザイン出張講座
- 1月10日 松山大学経済学部熊谷ゼミ(熊谷氏協力)でライフデザイン出張講座
- 1月11日 愛媛大学工学部(矢島氏協力)でライフデザイン出張講座
- 1月12日 松山東雲高等学校生活科学(木下かおり氏協力)でライフデザイン出張講座
- 1月16日 松山東雲高等学校生活科学(木下氏協力)でライフデザイン出張講座
- 1月25日 愛媛大学工学部(矢島氏協力)でライフデザイン出張講座・下記4講座はコラボ企画として講座を開催
- 2月11日 ライフデザイン交流会を開催

コラボ企画

- 6月1日 聖カタリナ高校普通科・総合学科(NPO法人 NEXT CONEXION協力)で主権者教育
- 9月29日 おしゃれを楽しむように、私のカラダを知り、未来をイメージする講座(ピアリングinえひめ協力)
- 10月15日 愛光学園普通科(NPO法人 NEXT CONEXION協力)でライフデザイン講座
- 12月19日 街角ライフデザイン(食育学校協力)
- 9月~2月 下記6施設で子育て体験  
道後保育園、みかん保育園、松山認定子ども園 星岡、松山認定子ども園 和泉  
子育てひろばくーふあん、多機能学童保育広場すくっと  
+共働き家庭(育休中含む)子育ての4家庭に学生スタッフが訪問(お宅訪問)

## ご協力いただいた皆さま

### 大学

- 桐木 賀子 松山東雲短期大学教授
- 熊谷 太郎 松山大学経済学部教授
- 安田 俊一 松山大学経済学部教授
- 丹下 晴喜 愛媛大学法文学部准教授
- 平尾 智隆 愛媛大学教育・学生支援機構准教授
- 前田 真 愛媛大学社会連携推進機構教授
- 矢島 伸浩 聖カタリナ大学教授
- 竹田 信惠 聖カタリナ短期大学部保育学科講師
- 藤田 京子 松山ビジネスカレッジキャリアセンター長
- 黒澤 寿美 環太平洋大学短期大学部教授
- 直井 玲子 松山東雲女子大学講師

### 高校

- 木下かおり 松山東雲高等学校教諭
- 越智 大貴 NPO法人 NEXT CONEXION代表理事

### 社会人

- 中村 和恵 料理研究家、作曲家
- 和田 恵明 NPO法人ファザーリング・ジャパン関西
- 橋口 孝幸 (株)日本エイジメント
- 野間須 陽 (株)あわしま堂
- 和泉 智子 愛媛トヨタ自動車(株)
- 下村 章子 南海放送(株)
- 新野 涼子 (株)バルソフトウェアサービス
- 東灘 真希 (株)バルソフトウェアサービス
- 金行 葦弥 愛媛新聞社
- 石井美奈子 えひめ結婚支援センター
- 泉谷 屏 NPO法人いよコロサシ大学
- 翼 舟平 主夫・パート勤務
- 瀧本 啓太 松山市消防局
- 向井紀美子 日本食研ホールディングス(株)
- 渡部 敏 ブリッジインターナショナル(株)
- 重見 千恵 ブリッジインターナショナル(株)
- 寿野 博志 (株)寿住宅

- 山本 清文 ウークショップデザイナー
- 寺尾真奈美 ジョブカフェ愛work
- 熊谷 球 ジョブカフェ愛work
- 入野 了士 愛媛県立医療技術大学
- 徳岡 梨沙 松山赤十字病院
- 安藤 哲也 NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事
- 大内 由美 ジョブカフェ愛work
- 高橋 拓行 愛電工(株)代表取締役専務
- 竹林 直哉 ブリッジインターナショナル(株)
- 加納 飛鳥 佐川印刷(株)

- 藤崎 朱美 えひめ結婚支援センターコーディネーター
- 吉田 宏 (株)アート不動産 代表取締役
- 川端 一徳 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団
- 水戸 将弥 サイボウズ(株)
- 宮内まだか NECソリューションズ(株)
- 坂本 敦志 (株)愛媛新聞社
- 大隅 哲平 松山市選舉管理委員会
- 渡邊健太郎 Matsuyama Project代表
- 明神 都貴 社会福祉法人神拝保育園 保育士
- 児玉 万年 (有)ラボール

- 尾崎 瞳尚 オレンジペイフルズ(株)
- 片上 直紀 医療法人財団 慈強会 松山リハビリテーション病院
- 池本真一郎 (株)あわしま堂
- 前 史 (株)パソナ
- 中岡 裕貴 佐川印刷(株)
- 橋 和美 愛媛大学城北保育所 えみかキッズ施設長  
(有)タグプロダクト
- やのひみ (株)アマゾン
- 徳倉 康之 (株)アマゾン代表取締役社長、NPO法人ファザーリング・ジャパン理事
- 高山 真実 (株)日本エイジメント
- 西田 照一 石田クリーニング(株)
- 平岡 広章 (株)ラフスタイル 代表取締役社長
- 重岡 真美 フリーランスカメラマン
- 新開 茉美 青山商事(株)
- 森 真奈 (株)ヴァンサンカン
- 中村優理子 松山市役所 職員厚生課
- 山本 康弘 NPO法人 SHARE LIFE DESIGN 理事長
- 戸塚 知美 (株)メディカグループ 母子箱
- 西村 祐典 子育てサポートにじいろえんび
- 山本由美子 NPO法人子育てネットワークえひめ 代表理事
- 本間 晶子 (株)マミーズファミリー えいらいキッズ保育士
- 木村 裕也 松山認定こども園 星岡
- 渡邊 光 サイボウズ(株)
- 伊藤 哲志 (株)井関農機製造所
- 羽原 幸子 パート勤務
- 田中 菜 ピアリンクinえひめ 代表
- 松本 陽子 NPO法人愛媛がんサポート おれんじの会 理事長
- 森山 聖彩 聞れ時々またこ店長
- 大田 美香 スポーツニュートリションM代表
- 畠中 長陸 オレンジペイフルズ(株)
- 片山真一郎 (株)セイコー不動産
- 安藤 志保 (株)セイコー不動産
- 渡部 寛樹 井関農機(株)
- 森 かおり KM-Healthcare Consulting 看護師

### ご協力いただいた団体・施設

- 愛媛大学ダイバーシティ推進本部女性未来育成センター
- 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学連携交流センター
- NPO法人子育てネットワークえひめ
- 社会福祉法人悠友会 虹のそら保育園
- 松山認定こども園 星岡
- 社会福祉法人白鳩会 生石保育園
- 松山東雲短期大学附属幼稚園
- 公益社団法人愛媛県看護協会
- 愛媛大学城北保育所 えみかキッズ
- 社会福祉法人 松山隣保館 松山隣保館保育園
- カタリナ子育て支援ひろば ぼけっと
- 道後保育園
- みかん保育園
- 松山認定こども園 和泉
- 多機能学童保育広場 すくっと
- NPO法人 NEXT CONEXION
- スポーツニュートリションM
- ピアリンクinえひめ

[順不同・敬称略]

※ご協力いただいた年度当時の所属、お立場で掲載しております。